

前回の主な意見と対応結果

令和7年8月25日

令和6年度 第2回移動性向上委員会における主な意見と対応結果

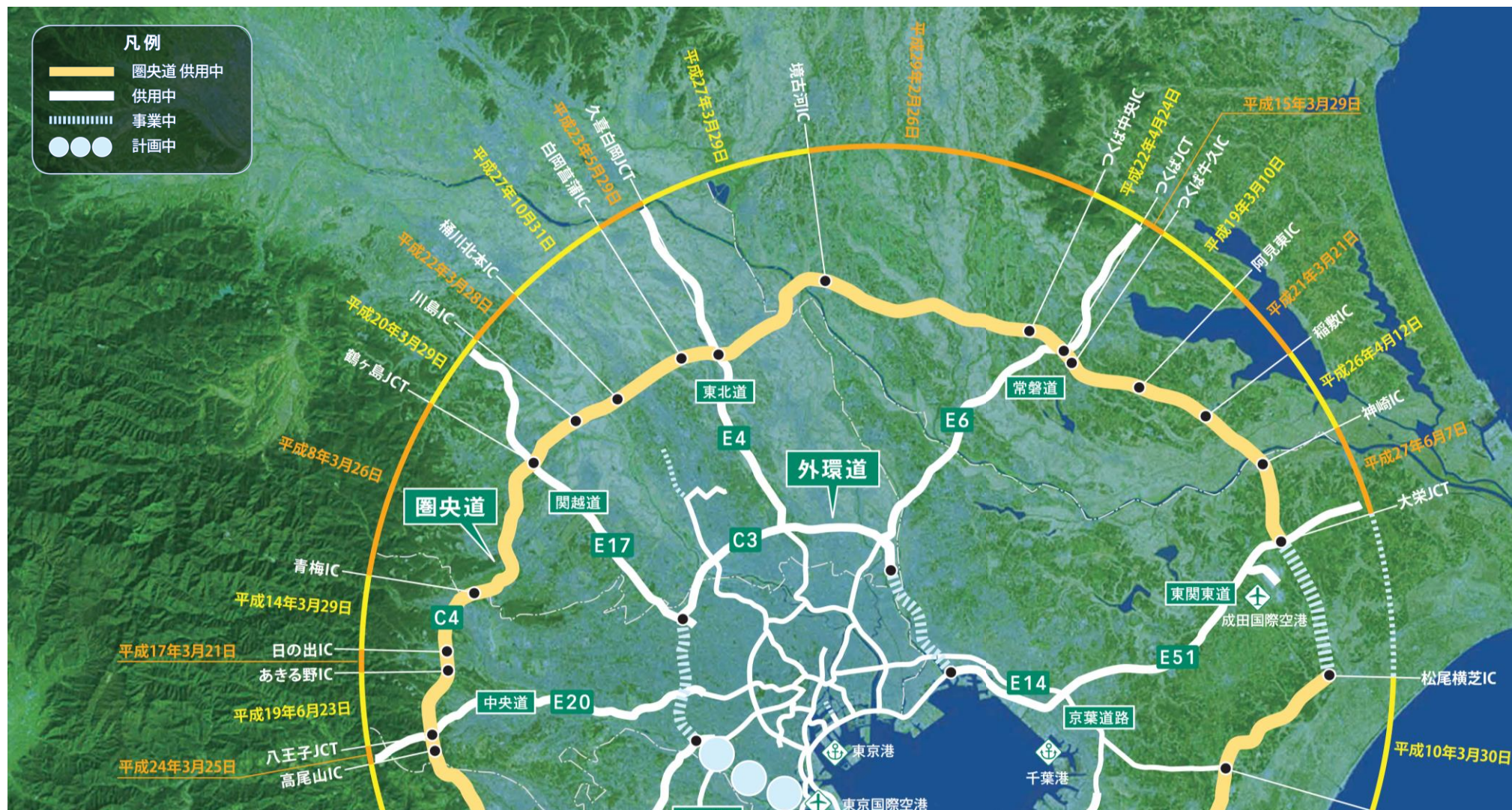
No	主な意見	対応結果	関連資料
1	圏央道の整備による交通状況の変化は、核都市広域幹線道路の必要性の議論に関連する重要なデータである。そのため、<u>圏央道の整備効果は埼玉県のどの地域に発現しているか整理</u>していただきたい。	・圏央道の整備効果が波及している範囲を確認するため、開通前後の期間において国道16号と並行する東西方向の県道を対象に国道17号バイパス～東北道間における走行台キロの変化(増減率)を整理。 ・東西方向の県道の走行台キロは国道16号以北では減少しており、国道16号以南では増加していることを確認。 ・このことから、国道17号バイパス～東北道間の東西方向の県道においては、圏央道の開通に伴い、国道16号以北(圏央道～国道16号間)県道で、圏央道や国道16号への交通転換が生じたと推察される。	資料1-1
2	・GW 期間中の渋滞箇所の対応策に、「情報提供による交通需要の分散化」があるが、情報提供の仕方を工夫する必要がある。観光等の目的地の HP 等での情報提供が有効と考えられ、<u>国道122号県境区間を通過する車両の主要な目的地を明確にした上で、効果的な情報提供方法を検討</u>していただきたい。	・情報提供方法を検討し、R7年GW期間において道路渋滞情報等の提供による交通需要の分散化と公共交通機関の利用促進(県HP、SNSを活用した情報発信)を実施。 ・国道122号県境区間を混雑していた夕方に通過する車両は、多方面の観光・商業施設からの帰宅車両と推察され、群馬県や栃木県を含めた広域において、道路情報板や道の駅等による混雑・渋滞緩和の情報提供の必要性を確認。 ・今年のGW期間での交通状況を確認し、国道299号(秩父市・横瀬町)では依然として混雑が発生。国道122号(羽生市・上新郷)では混雑状況が緩和し、「特に混雑が確認されたエリア」に該当しなくなったことを確認。	資料1-2

圏央道整備による交通状況の変化

圏央道整備による交通状況の変化【圏央道整備の変遷】

令和6年度第1回移動性向上委員会(R6.8.27開催)資料再掲

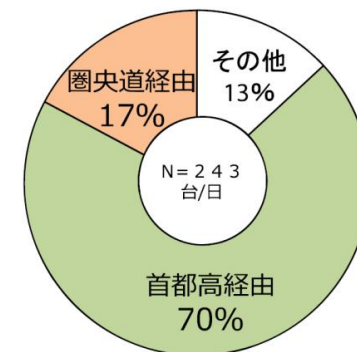
○圏央道は、昭和60年度に八王子JCT～鶴ヶ島JCT間が事業化され、平成8年に青梅IC～鶴ヶ島JCT間が開通して以降、順次開通し、平成29年2月の境古河IC～つくば中央IC間の開通により9割が完成



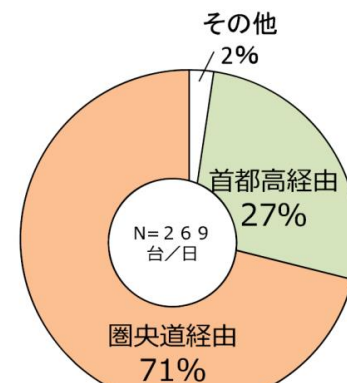
出典: 関東地方整備局ホームページをもとに編集(供用時期であり、4車線化時期等とは異なる点に留意が必要)

圏央道整備による交通状況の変化【交通流動の変化】

- 最新の供用である境古河IC～つくば中央IC間の開通時(平成29年2月)の効果としては、圏央道沿線で企業立地促進効果、成田空港へのアクセス性向上効果、圏央道沿線で広域周遊観光が活発化。
- 交通状況の変化としては、都心経由から圏央道経由に交通の転換する効果を既に確認。



首都高経由が
7割から約3割に減少



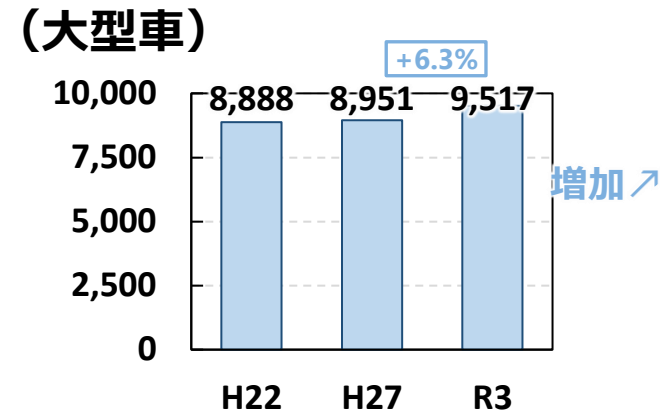
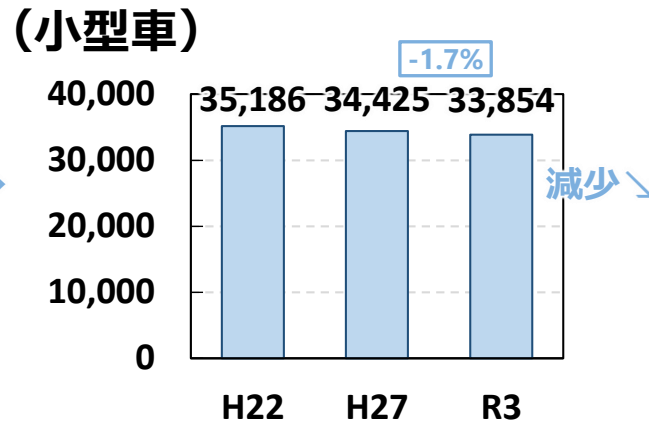
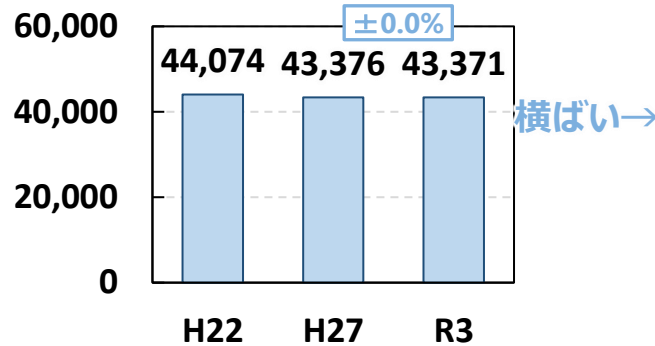
※ETCデータ H28/6の30日間とH29/6の30日間
 ※「その他」には、外環を経由する経路を含む(逆向き含む)

圏央道整備等を含む期間前後の交通状況の変化(管内)

- 埼玉県内全体の走行台キロをH27とR3と比較するとほぼ横ばい。車種別の傾向として、小型車は約34.4百万台キロから約33.9百万台キロとやや減少し、大型車は約9.0百万台キロから約9.5百万台キロに増加。
- 圏央道と国道16号の合計ではH27からR3で+49.7%と大幅に増加。圏央道は全車種で増加(+130.3%)、車種別にみても増加。一方、圏央道の並行路線である大宮国道管内の国道16号は減少傾向(-4.7%)。

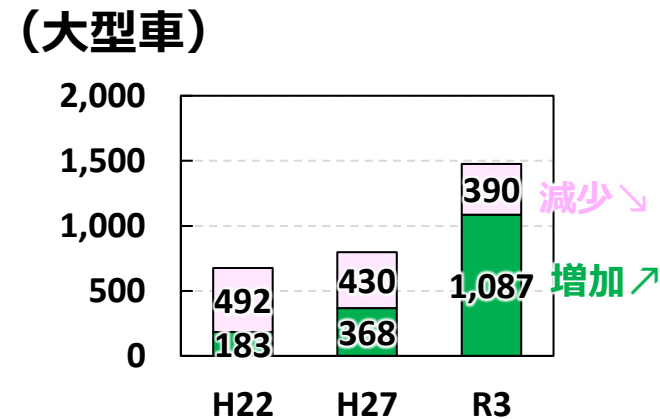
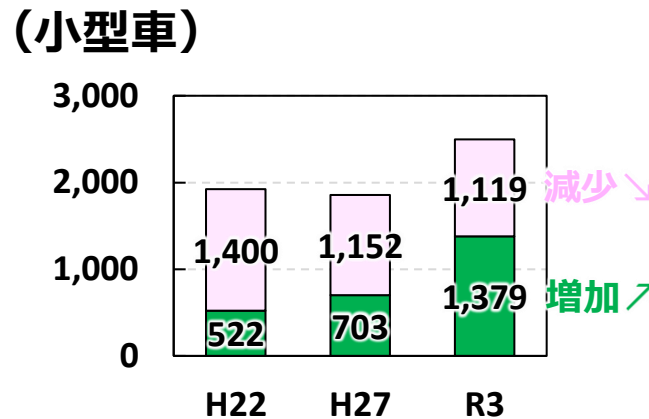
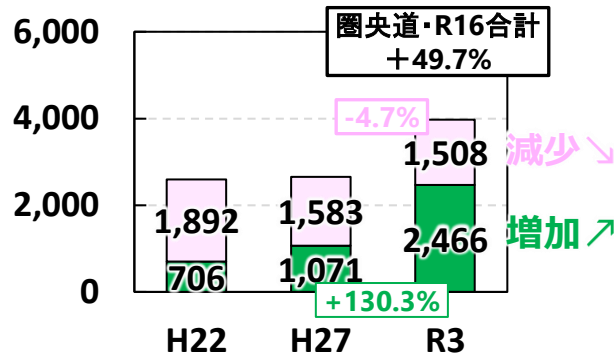
<埼玉県内の走行台キロ(単位:千台キロ/12h)> (全車種)

※コメント内の変化率は、全車種のH27値に対するR3値の割合



<埼玉県内の路線別走行台キロ(単位:千台キロ/12h)> (全車種)

■ 圏央道 □ 一般国道16号



※全国・街路交通情勢調査 一般交通量調査を用いて作成

※図横の増減矢印は、H27値に対するR3値の変化(平成29年2月の境古河IC~つくば中央IC間の供用(中央自動車道から常磐自動車道まで圏央道で繋がった際)の期間前後で整理しているが、それ以外の路線供用等の交通への影響を含む可能性がある点に留意する必要がある)

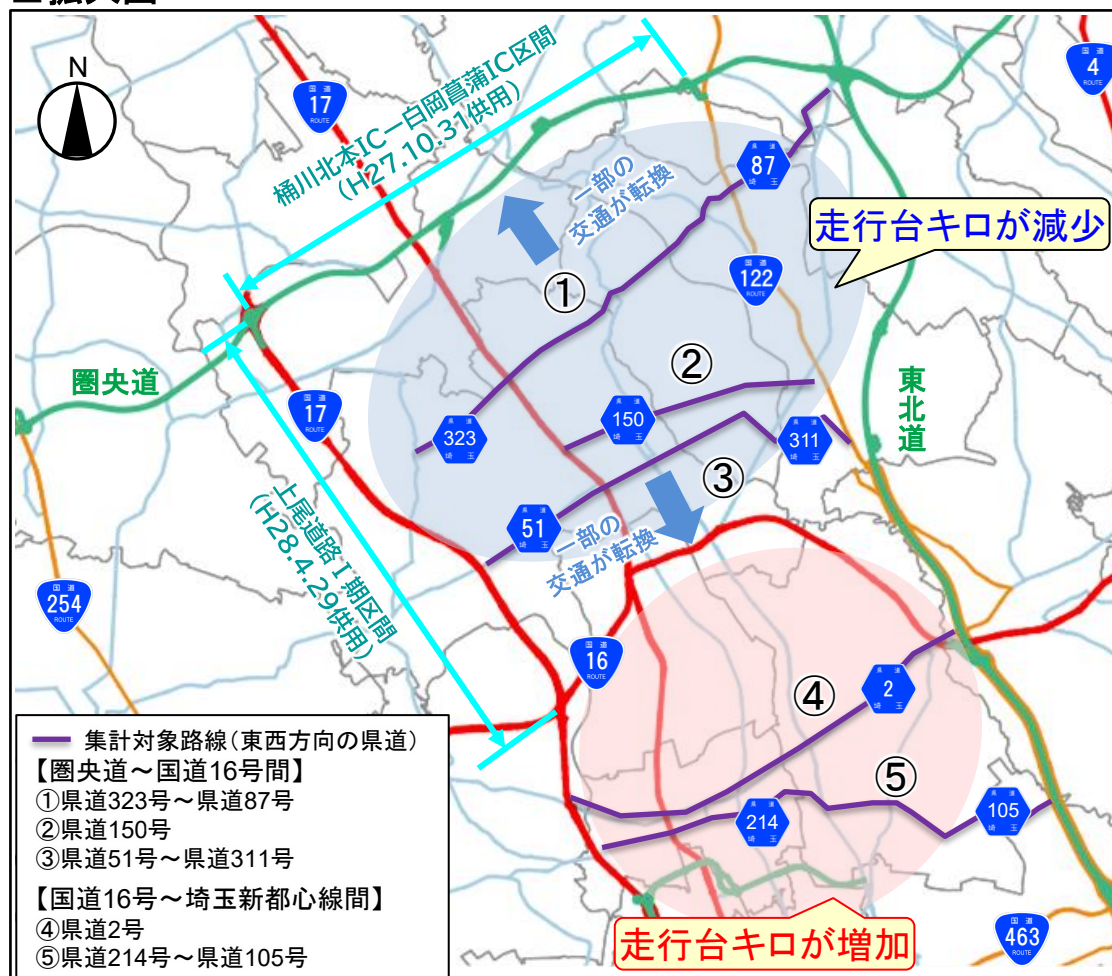
圏央道整備による交通状況の変化【走行台キロの変化】

- 国道16号と並行する東西方向の県道を対象に国道17号バイパス～東北道間における走行台キロの変化を整理。
- 東西方向の県道の走行台キロは、国道16号以北(圏央道～国道16号間)では約4%減少し、国道16号以南(国道16号～埼玉新都心線間)では約4%増加していることを確認。
- このことから、国道17号バイパス～東北道間においては、圏央道の開通に伴い、国道16号以北(圏央道～国道16号間)の東西方向の県道で、圏央道や国道16号への交通転換が生じたと推察される。

■位置図

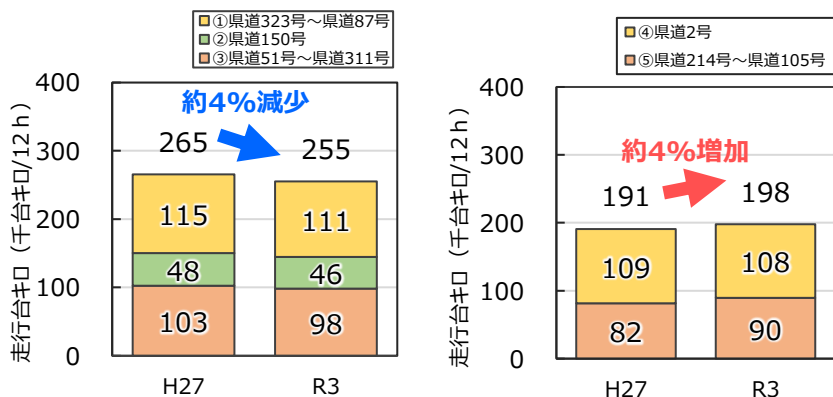


■拡大図



■並行する県道の走行台キロの変化(H27→R3)

圏央道～国道16号間 国道16号～埼玉新都心線間

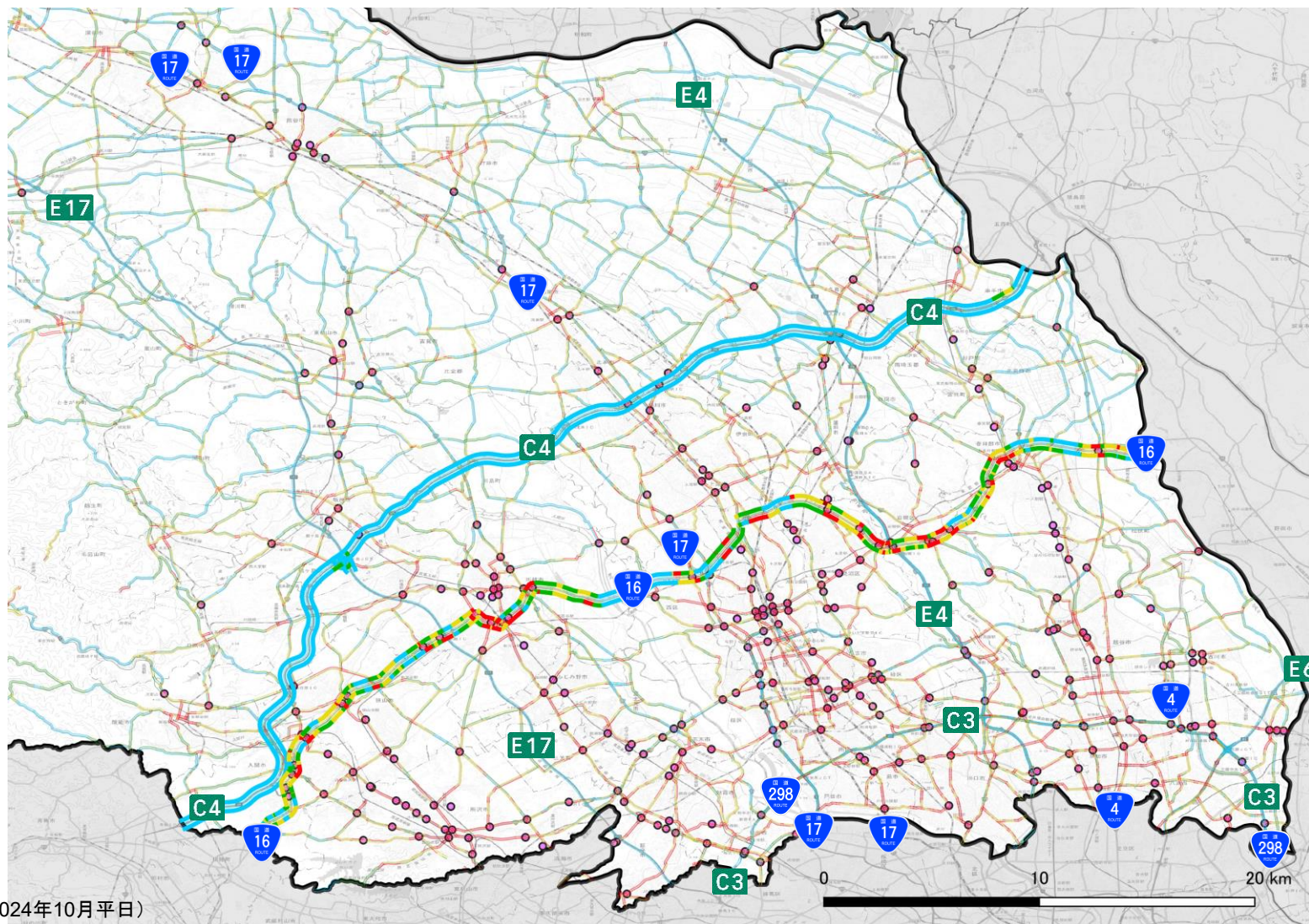


※全国・街路交通情勢調査 一般交通量調査(H27、R3)を用いて作成

圏央道整備後の交通状況

○平成27年10月31日に桶川北本IC～白岡菖蒲IC間10.8kmの開通により埼玉県内の区間は全線開通。
○しかし、依然として国道16号は旅行速度は低く、混雑・渋滞が発生している区間が存在。

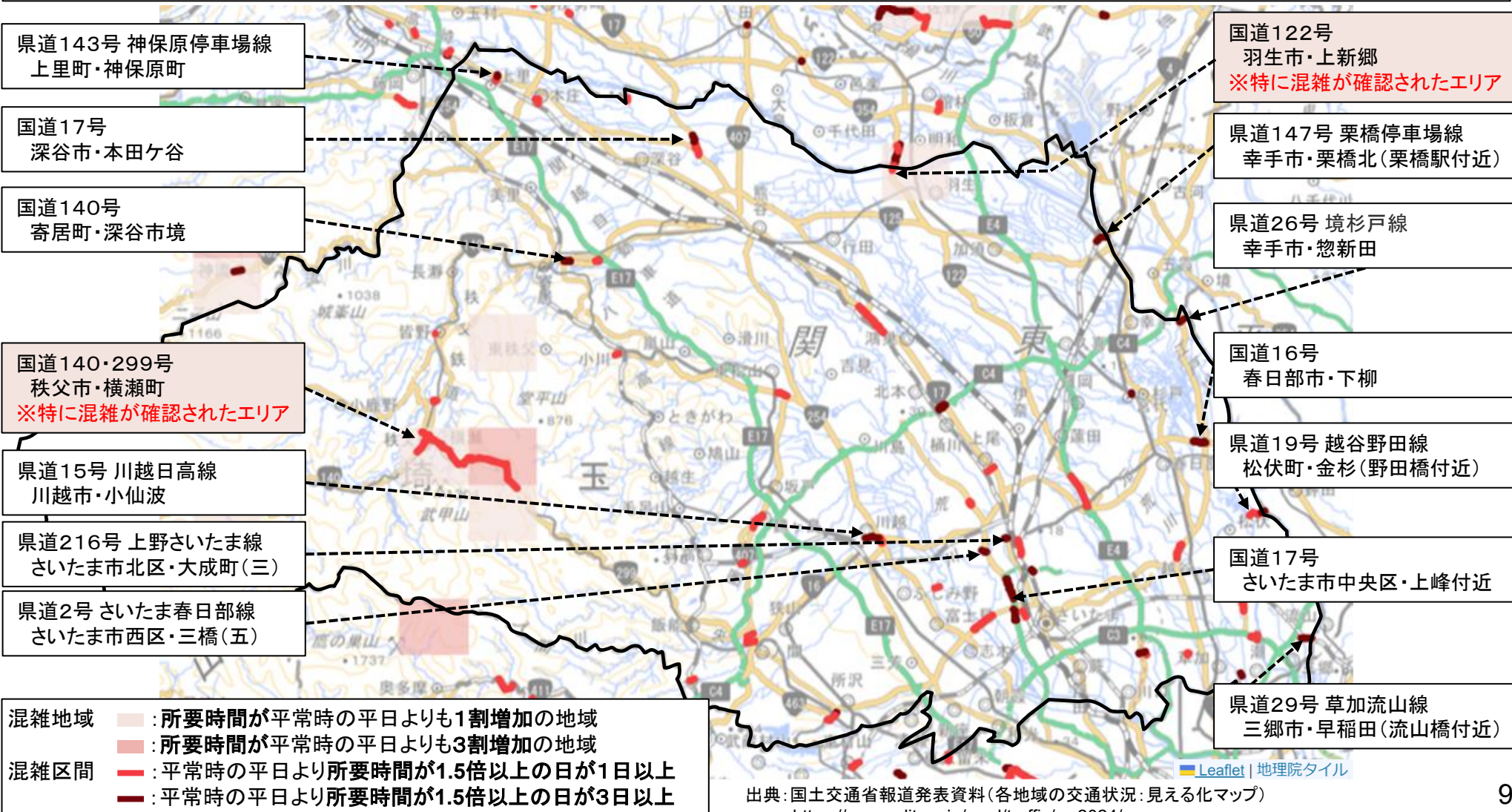
■埼玉県内の主要渋滞箇所と速度状況(平日昼間12時間平均)



GW 期間中の渋滞箇所の対応策について

令和6年度 GW期間中の交通状況

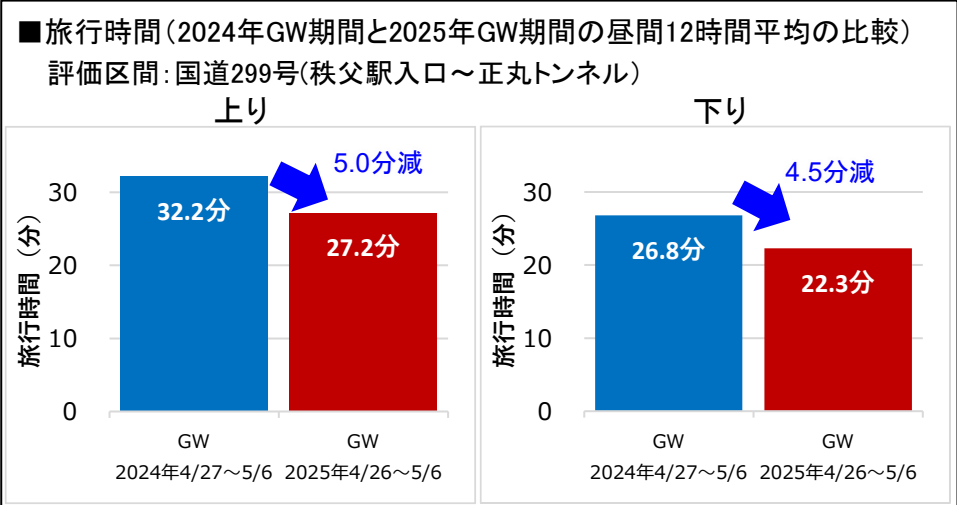
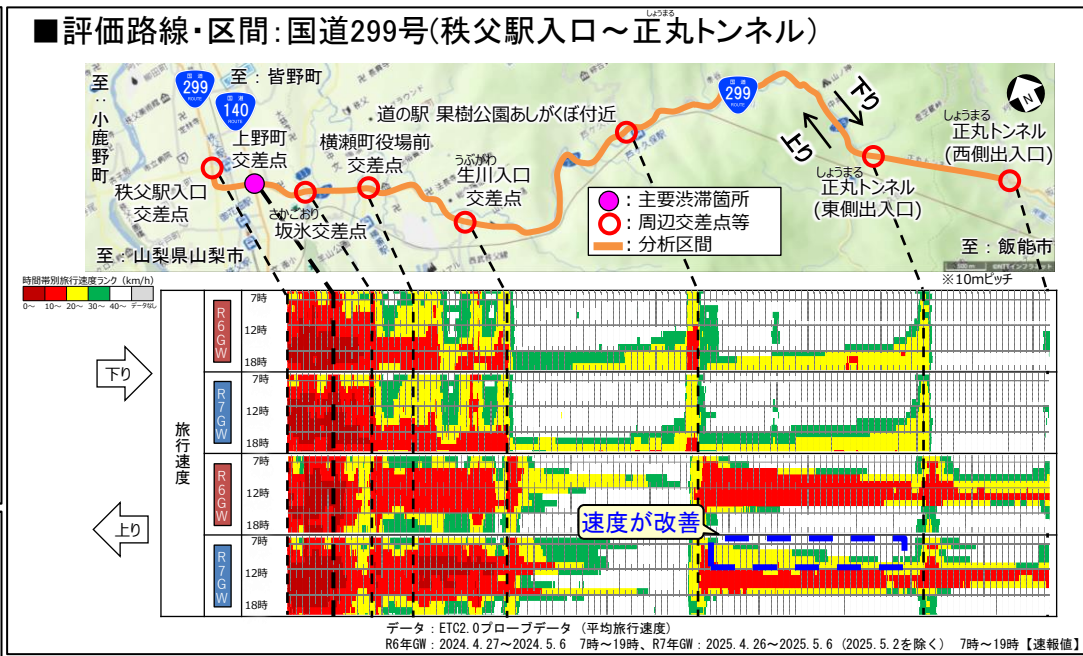
○令和6年度GW期間中の交通状況について、ETC2.0プローブデータを用いて分析した結果を本省にて公表（2024/7/10）。
○混雑地域と混雑区間が重複するエリアを「特に混雑が確認されたエリア」としている。



国道299号(秩父市・横瀬町)の渋滞箇所の対応結果

国道299号 GW期間中の渋滞状況と対応結果

- 当該箇所は、羊山公園等の観光施設への観光交通の集中による渋滞が発生。
- R7年GW期間において道路渋滞情報等の提供※による交通需要の分散化と公共交通機関の利用促進を実施。
- 国道299号(秩父駅入口～正丸トンネル間)の旅行時間は、上り線で約5.0分減少、下り線では、約4.5分減少した。
- ただし、依然として速度低下が発生していることから、引き続き啓発活動に取り組む。



混雑要因と対応結果

(想定された混雑要因)

- 秩父地域への観光等に伴う交通需要の増加
- 地形的制約から秩父地域へアクセスするための主要幹線道路が限定される。(国道140号、国道299号など)

(対応結果)

- 通行規制情報、渋滞予測等の提供による交通需要の分散化
- 公共交通機関の利用促進(県HP、SNS※を活用した情報発信)

<参考>

- 西武秩父線、秩父鉄道ではGW期間中に臨時列車を運行

SNS活用した情報発信(例: LINE)

ゴールデンウィークのお出かけ前にチェック!

交通渋滞緩和のため、分散利用のご協力をお願いします!

- 公共交通機関の利用
- 渋滞情報を事前に確認!
- 時間帯の変更

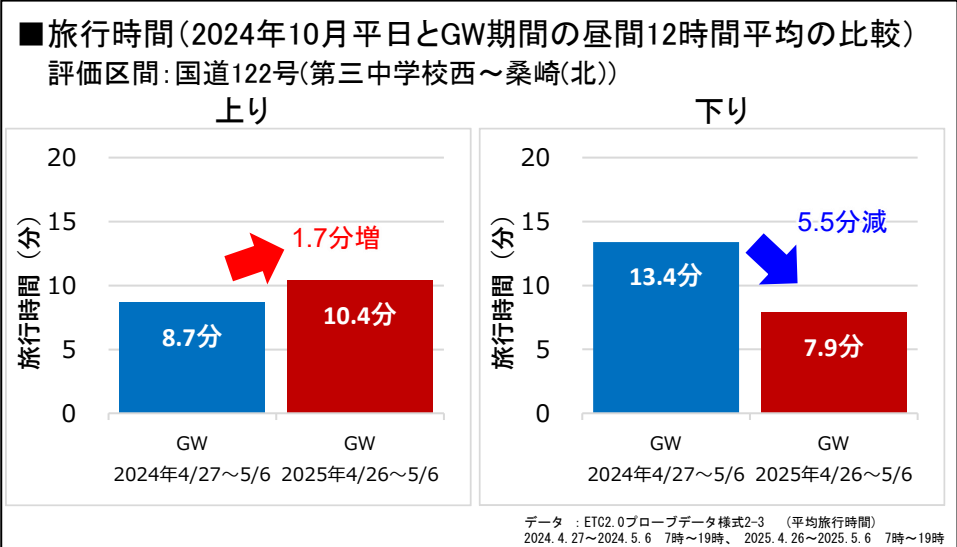
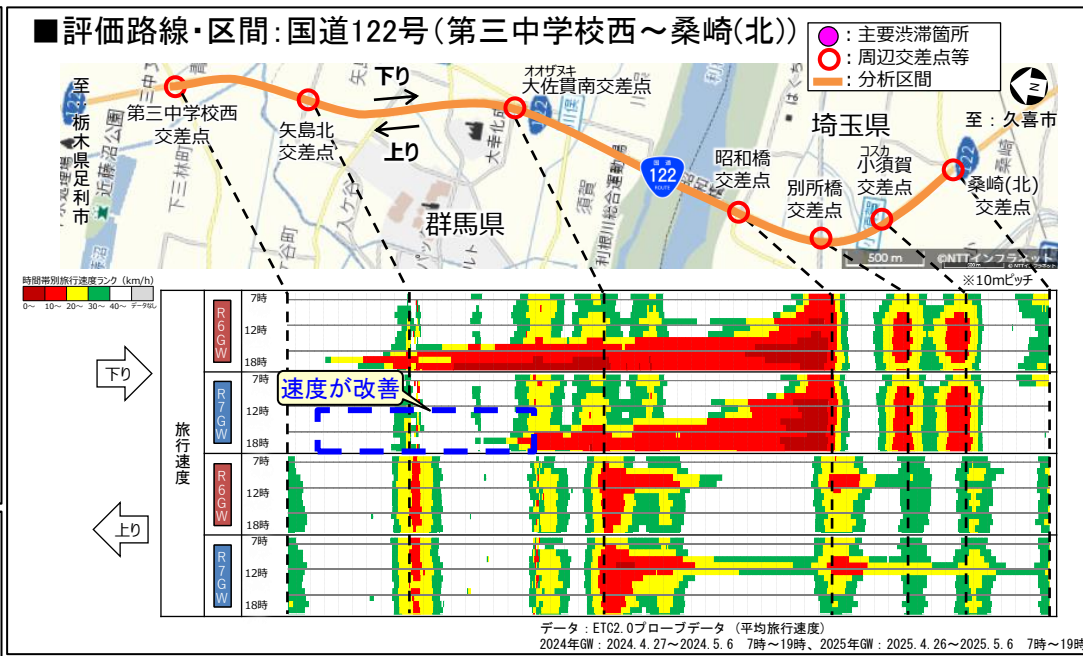
詳細はこちら
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1001/dorojoho/gw2025.html?from=line>

ゴールデンウィーク期...
このサイトではJavaScript
を使用したコンテンツ...

国道122号(羽生市・上新郷)の渋滞箇所の対応結果

国道122号 GW期間中の渋滞状況と対応結果

- 当該箇所は、観光地や商業施設からの交通集中による渋滞が発生。
- R7年GW期間において道路渋滞情報等の提供※による交通需要の分散化と公共交通機関の利用促進を実施。
- 国道122号(第三中学校西～桑崎(北)間)の旅行時間は、上り線で1.7分増加したが、下り線では5.5分減少した。
- ただし、依然として速度低下が発生していることから、引き続き啓発活動に取り組む。



混雑要因と対応結果

(想定された混雑要因)

- ・県外への観光や帰省等に伴う交通需要の増加
- ・利根川を渡河するための橋りょうが周辺に少ないため、交通需要が集中

(対応結果・検討結果)

- ・通行規制情報、渋滞予測等の提供による交通需要の分散化
- ・公共交通機関の利用促進(県HP、SNS※を活用した情報発信)
- ・(仮称)利根川新橋の整備推進

<参考>

- ・東武伊勢崎線ではGW期間中に臨時列車を運行

※県庁の公式SNS (LINEおよびX (旧Twitter))

SNS活用した情報発信(例: LINE)

ゴールデンウィークのお出かけ前にチェック！

交通渋滞緩和のため、分散利用のご協力をお願いします！

- ✓ 公共交通機関の利用
- ✓ 渋滞情報を事前に確認！
- ✓ 時間帯の変更

詳細はこちら
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1001/dorojoho/gw2025.html?from=line>

ゴールデンウィーク期...
このサイトではJavaScriptを使用したコンテンツ...

国道122号昭和橋を通過した車両の交通流動および出発地

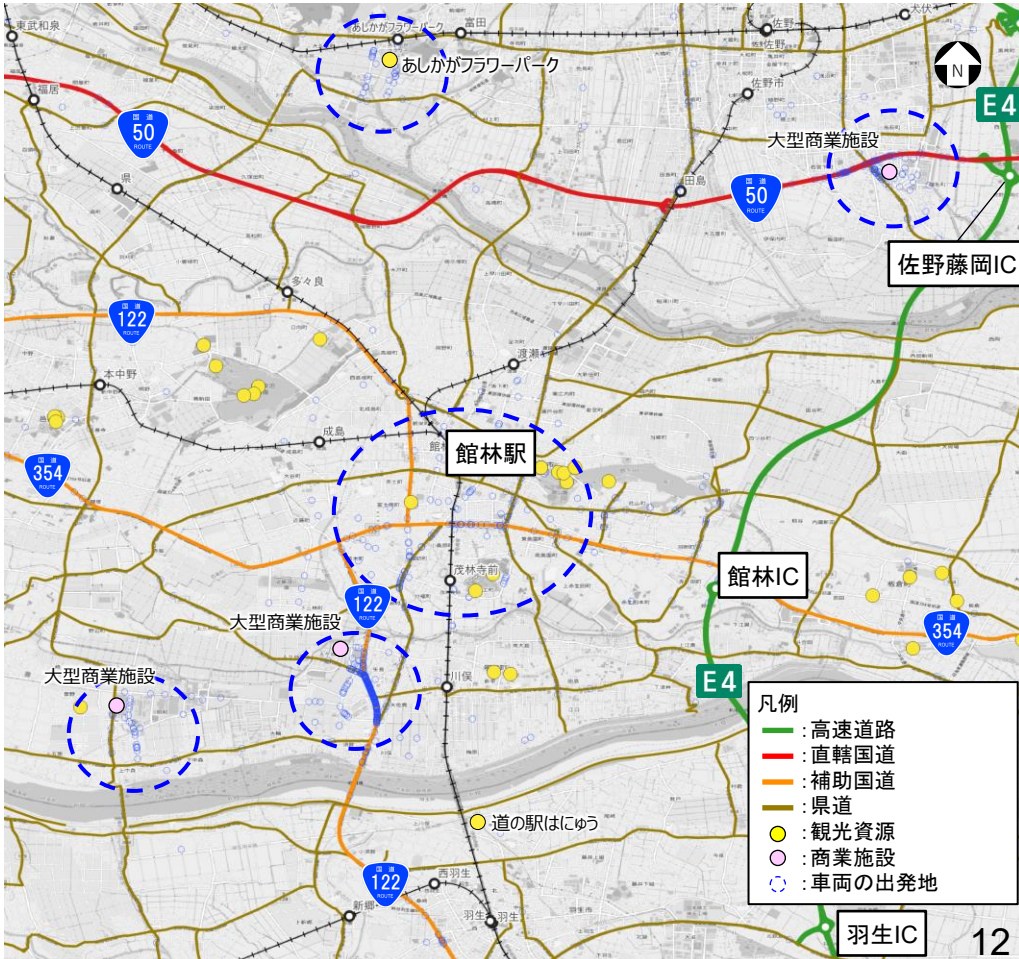
○令和7年度GW期間中(2025/5/3~5/6)に国道122号昭和橋付近で混雑が発生していた15~18時台を対象に分析を実施。
○国道122号昭和橋は、東北道の混雑を回避する観光・商業施設からの帰宅交通が集中することで混雑が発生していると推察。
○群馬県や栃木県を含めた広域において、道路情報板や道の駅等による混雑・渋滞緩和の情報提供の必要性を確認。

■ 国道122号昭和橋を通過し、群馬県から埼玉県に向かう小型車両

【昭和橋を通行する車両の交通流動】データ:ETC2.0プローブデータ(様式2-1) データ期間:2025年5月3日(土)~5月6日(火・祝)15~19時



【昭和橋を通行する車両の出発地】



<参考>令和7年度 GW期間中の交通状況

○令和7年度GW期間中の交通状況について、ETC2.0プローブデータを用いて分析した結果を本省にて公表（2025/5/16）。埼玉県内の交通状況は以下の通り。

※混雑地域（所要時間3割増加地域）、混雑区間（所要時間1.5倍以上の日が3日以上）を抜粋して掲載。

